

森林管理署長等が語る

令和5年9月

大井川治山センター所長 大澤 学

1. はじめに

大井川治山センター所長の大澤と申します。大井川治山センターに着任して2年目となりました。休日は単身赴任のため自宅に帰っていますが、空いている日には周囲の環境に慣れるために付近を散歩したり、静岡県内や奥大井の観光地を巡ったりして過ごしています。

それでは、大井川治山センターと周辺の観光についての紹介をします。

大井川治山センターについて少々知っていただければ幸いです。また、奥大井に遊びに行く際の参考になればと思います。



大井川治山センター庁舎

2. 大井川治山センターの概要

大井川治山センターは、一級河川の大井川上・中流域にある多くの荒廃地を森林に復旧するため、民有林直轄治山事業を専門に実施している我が国唯一の治山センターとして、平成13年に静岡県川根本町に設置されました。

事業対象地は、長野、山梨、静岡の三県にまたがる南アルプスの三峰岳(みつみねだけ) (標高2,999m) 及び山梨、静岡の二県にまたがる間ノ岳(あいのだけ) (標高3,190m。日本第3位の標高で奥穂高岳(おくほたかだけ)と同位) に源を発し、赤石山脈・白根山脈の間を南下して、駿河湾に注ぐ約168kmにも及ぶ大井川の上流域のうち、井川ダムの上流及び大井川支流^{はいばら}榛原川となっています。



上千枚沢の治山ダム群

3. 大井川治山センターの取組

大井川治山センターは、治山事業によって荒廃地から森林への復旧を進めていますが、事業地は地形も急峻で標高も高いという厳しい自然条件のため、工事にあたって様々な工夫を行っています。

例えば、急斜面では安全かつ効率的に作業を実施するため、急斜面での作業に適したロック・クライミング・マシン（RCM）を導入し、ヘリコプターを使って種子をまき緑化を図っています。



ロック・クライミング・マシンによる法切作業

また、ドローンを活用して、急峻で人が入ることが危険な場所における荒廃状況の調査や工事の進捗を管理しています。

最近では、工事現場と大井川治山センターの事務室を双方向でリアルタイムに映像と音声を通信できるようにする取組も実施しています。



ASPA 簡易法砕工（出来形確認） 2023/07/27 11:15:53(残り00:44:07)

工事名	大井川地区（ホーキ種）直轄治山工事（R4ゼロ区）		
工種	簡易法砕工		
測点	No.3		
出来形確認（ラス金網張完了確認）			
	記号	設計	実測
	n	3	3
	n	15	17
w	10	23	

立会 馬水監督職員 R5年7月26日

工事現場との通信の様子

4. 大井川治山センター周辺の観光

・お茶

大井川治山センターが所在する川根本町をはじめとした地域は、川根茶の産地として有名です。

川根茶は京都府の宇治茶、埼玉県の狭山茶と並んで三大銘茶として知られています。

・^{すまたきょう}寸又峡温泉

美女づくりのお湯として知られている寸又峡温泉は、大井川鐵道^{せんず}千頭駅からバスに乗り、約40分で行けます。また寸又峡温泉近隣には自然との調和が人気のスポットで「死ぬまでに渡りたい世界の徒歩吊り橋ベスト10」に選出されている「夢のつり橋」があります。

・大井川鐵道

大井川鐵道は島田市の^{かなや}金谷駅から川根本町の千頭駅を結ぶ 39.5km の大井川本線と千頭駅から静岡市葵区の井川駅を結ぶ 25.5km で運行されています。大井川本線では、SLやリアルに「きかんしゃトーマス号」を模したSLが走っていることで知られています。

しかし、令和4年の台風15号の被害により千頭～家山間の鉄道運行が休止となり、バスによる運行となっています。

井川線では、車両の床下にある歯車の補助により急こう配を上り下りするアプト式が、日本で唯一採用されています。



大井川鐵道井川線

井川線の途中には、長島ダムの湖上に突き出た場所に奥大井湖上駅があり、フォトスポットとしても有名です。



大井川鐵道のSL

・大井川治山センター

大井川治山センター庁舎には、訪れた人が治山事業について知ることができるようにパネルやジオラマを展示しています。



治山事業のジオラマ

また、会議室にはプロジェクターの設備もあり、勉強会等の会場としても使えるようになっています。

庁舎周辺は茶畑が多く存在するほか、特別天然記念物に指定されている二ホンカモシカをはじめ、サルやキジが敷地近くに遊びに来るなど、自然豊かなところです。



庁舎近辺に来たカモシカ

5. おわりに

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図る極めて重要な国土保全施策の一つで、安全で安心できる豊かなくらしの実現を図るうえで必要不可欠な事業です。

しかしながら、いくら重要な事業であっても事業を行うには、地元の理解や協力が無ければ円滑に実施することはできません。

そのため、大井川治山センターでは毎年、地元への事業の説明会を行ったり、登山道の清掃活動、地元のお祭りなどのイベントに参加したりするなど機会をとらえて治山事業についてPRを行っています。

今後も引き続き、地元とのつながりを大切にしながら業務を行っていかこうと考えています。



奥大井ふるさと祭り（令和4年11月12日）



寸又峡の歩道整備（令和4年7月21日）